

※前ページから続く。

不審者対策について

Q 夏休みが終わった頃から地域の児童公園に不審者が出没している。小学校から自治会でパトロールしてくれないかと依頼があり、防犯組合と一緒に対応しているが、良い対応策はあるか。

A 不審者対策は、市や警察の活動だけでなく、防犯組合や自主防犯組織の皆さまによる地域の活動が犯罪の抑止力になっていいると考えられています。

市としましても、安全安心メールによる不審者発生状況の情報提供を行うとともに、警察と連携しながら職員による青パトの巡回を行うなど、不審者発生箇所のパトロール強化を図っております。

また、多数の市民の目が地域に向けられることが、犯罪の未然防止への大きな力になると考えており、引き続き地域の皆さまと力を合わせた防犯パトロールの実施を行なっております。

郷土愛を育むについて

Q 民間団体が地域の愛着度に関する調査を行った結果、千葉県は42位であった。次代を担う子どもたちに対し、茂原市はどのような取り組みをしているのか。

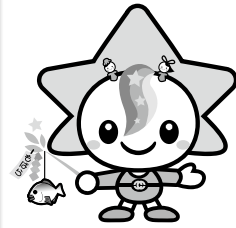
A 全国学力学習状況調査が行なわれた中で、地域との関わりなどの調査項目に、地域の行事に参加しているかどうかなどの項目があり、茂原市ではその数値が低い結果となっていました。

そうしたことから、郷土について少しでも関心を高めてもらうため、小・中学校では「茂原学」と称した学習時間を設けました。

自分たちが住んでいる茂原を改めて見つめ直すため、専門家や市の職員が講師となり、各学年に応じて、市の文化財の解説や様々な市の取り組みなどを紹介しております。

また、毎朝8時に流れている市の愛唱歌「いつも憧憬」を普及させたいとして、中学校の合唱コンクールで歌われ

て、大変好評でした。こうした取り組みを組み合わせながら、郷土愛を育む努力をしてまいります。



女性管理職の登用について

Q 最近の報道では、政府は、女性が輝く社会の実現のため女性管理職を大幅に増やそうとしている。茂原市ではそのような取り組みはあるのか。

A 現在市では女性職員を積極的に管理職に登用しようとする基本的な考えで人事配置などを行なっています。

採用後間もない若い世代の職員に対し、業務遂行に当たっては男性・女性の区別はないという意識を醸成するため、しつかりとした人材育成を行い、女性管理職の登用を推進してまいります。

災害対策のためのタイムテーブルの情報共有について

Q 市で策定している水害対策のタイムテーブルを提供してもらえると、それに合わせて、地域の災害対策タイムテーブルを作ることができる。何か考えはあるか。

A 市では、災害への備えを万全とするため、災害対策のタイムラインを作っております。

特に水害対策に関しては、気象情報を収集する中で、勢力の強い台風などの接近が予想された場合は、各対策部において1週間ほど前から、準備すべきもの、あるいは確認すべきものをピックアップし、「もしも」に備えた準備をすることとしています。

今年の台風の接近については、大きな被害はなく、結果的には準備が空振りに終わりましたが、備えを怠ることなく対応いたします。

また、タイムラインを自治会の皆さまと共有することについては、その手法も含め検

討してまいります。



市役所脇を流れる豊田川の氾濫 (H25.10.16)

東部台地区の下水道事業について

Q 平成25年度から東部台地区で下水道事業が再開された。市では財政健全化を進めなければいけない時期に、なぜ多額の費用を必要とする下水道事業を再開したのか。その意義を伺いたい。

A 東部台地区の下水道事業については、市の財政健全化計画に沿って平成20年度から平成24年度まで、凍結してまいりました。